



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-14. 健康と共生**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

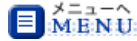


参照URL

学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586003701	科目番号	05860037
授業科目名	●健康と共生 I (ハンディキャップ)		
編集担当教員	村田 潤		
授業担当教員名(科目責任者)	村田 潤		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村田 潤, 東嶋 美佐子, 石松 隆和		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]32講義室		
対象学生(クラス等)	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	jmura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	村田教員室(医学部保健学科2F)		
担当教員TEL	095-819-7923		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00-1300, 金曜日17:00-1800		
授業のねらい	疾病・事故・加齢に伴う運動機能の障害やそれ等からおこる生活障害等により生じるハンディキャップについて学ぶ。また、リハビリテーションの観点から身体機能の障害改善のための主体的活動への働きかけや身体が多様な障害から生活障害を惹起させないための多面的な検討を紹介し、障がい者の生活権保障から社会生活におけるノーマライゼーションを模索することの理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	講義・視聴覚資料の視聴・相互の意見交換		
授業到達目標	傷害された機能の再獲得のためのリハビリテーションの概要を理解することにより、受動的な訓練と異なった主体的な活動による機能回復や開発を目指す支援方法の理解を深める。また、機能障害を代替する方法の変更・環境調整や機器の利用等により機能の障害を生活の障害とさせない支援について理解できるようにする。 障がい者・高齢者等の生活弱者の生活権の存在を理解する。それへの認識を深めて自律的生活遂行における困難な部分において支援を受ける権利の保障についてからノーマライゼーションを模索する視点を身につける。また、支援の企画を理解し提案できるようにする。		
授業内容	回	内容	
	1	授業ガイダンス (村田)	
	2	運動機能の制御と環境適応 (村田)	
	3	リハビリテーションと障害 (東嶋)	
	4	障害に対するリハビリテーション支援策 (東嶋)	
	5	発達障害と特別支援教育Ⅰ (東嶋)	
	6	発達障害と特別支援教育Ⅱ (東嶋)	
	7	発達障害と特別支援教育Ⅲ (東嶋)	
	8	食事困難に対するリハビリテーションの実際 (東嶋)	
	9	高次脳機能障害のリハビリテーション (村田)	
	10	内部障害とリハビリテーション (村田)	
	11	機器を活用する自立支援Ⅰ (石松)	
	12	機器を活用する自立支援Ⅱ (石松)	

	13 障がい者の利用できる社会資源 (村田)
	14 高齢者の在宅支援と実際 (村田)
	15 健康支援について(村田)
	16 期末試験(村田)
キーワード	リハビリテーション、ノーマライゼーション、作業療法、障がい者の生活
教科書・教材・参考書	教科書は特に定めない。 参考書: 上田敏リハビリテーションを考える(障害者問題双書) 福祉用具アセスメントマニュアル(中央法規) 他適宜配布・紹介する 選択したテーマに応じた視聴覚資料を利用する
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度、レポート、期末試験などを総合的に評価する。 原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別に学習の指導を行う。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-14. 健康と共生**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586002901	科目番号	05860029
授業科目名	●健康と共生 I (人の一生と健康)		
編集担当教員	折口 智樹		
授業担当教員名(科目責任者)	折口 智樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	折口 智樹,花田 裕子		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]32講義室		
対象学生(クラス等)	工学部,環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	折口智樹/origuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	折口/医学部保健学科2階、花田/同4階、澤井/同5階		
担当教員TEL	折口/095-819-7921, 花田/095-819-7944, 澤井/095-819-7990		
担当教員オフィスアワー	火曜日～13時		
授業のねらい	人の各ライフサイクル(乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、更年期、老年期)における健康問題について理解する。		
授業方法(学習指導法)	各ライフサイクルにおける健康問題について講義を受けるとともに、どんな健康問題があるか検討したうえで、抽出された健康問題をテーマとして、自主的に学習を行う。そして、学習した内容についてプレゼンテーションを行い、学びあう。講義にもアクティブラーニングを取り入れる。		
授業到達目標	健康の概念と各ライフサイクルにおける健康問題について説明できる。 自主的に学習し、知り得た知識を説明するスキルを習得する。		
授業内容	回	内容	
	1	ライフサイクルと健康問題概論(担当:折口)	
	2	小児期の健康問題(担当:花田)	
	3	思春期の健康問題(担当:花田)	
	4	青年期の健康問題(担当:花田)	
	5	小児期・思春期・青年期の健康問題に関する発表(担当:花田、折口)	
	6	壮年期の健康問題(担当:澤井)	
	7	壮年期の健康問題(担当:澤井)	
	8	壮年期の健康問題に関する発表(担当:澤井、折口)	
	9	更年期の健康問題(担当:折口)	
	10	更年期の健康問題(担当:折口)	
	11	更年期の健康問題に関する発表(担当:折口)	
	12	老年期の健康問題(担当:折口)	
	13	老年期の健康問題(担当:折口)	
	14	老年期の健康問題に関する発表(担当:折口)	
	15	各ライフサイクルと健康問題のまとめ(担当:折口)	
16	試験(担当:折口)		

キーワード	ライフサイクル、健康問題
教科書・教材・参考書	特に定めない。
成績評価の方法・基準等	発表、提出物、試験、授業への貢献度を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	健康問題に関心のある学生、共同して学習することに関心のある学生。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	プレゼンテーション(発表)をする方法を学んでおく。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-14. 健康と共生**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586003301	科目番号	05860033
授業科目名	●健康と共生 I (性と生)		
編集担当教員	宮原 春美		
授業担当教員名(科目責任者)	宮原 春美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宮原 春美,井川 掌,井田 洋子, 安日 泰子		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]33講義室		
対象学生(クラス等)	工学部,環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	spring@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科4階宮原研究室		
担当教員TEL	095-819-7954		
担当教員オフィサー	メールでまず連絡下さい		
授業のねらい	<p>本講座は「人間の性とは何か」についてアプローチする。</p> <p>近年、人々の性行動や規範は解放されてきたが、人々の生涯を豊かにする「人間関係としての性」の学習は保障されていない。この学習の不在に加えて、インターネットを頂点とするあふれるメディア情報に翻弄されているのが現代社会の姿ではなからうか。</p> <p>人間の性は本能ではなく、学習により獲得されることが一つの特徴である。</p> <p>「性」をテーマとして、自己と他者への思考を深め、性情報の取捨選択能力を培う。それらを通し、今後における個々人の豊かなセクシュアリティ確立とモラル形成を図る。</p>		
授業方法(学習指導法)	講義を中心に、一部演習・グループワークを取り入れる		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間の性とは何かについて、科学的、社会的に考察できる。 2.人間の性の多様性と関係性について討議できる。 		
授業内容	<p>以下の授業内容に応じて担当教員がそれぞれの専門分野から講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.人間の性とは何かについて考える。 性科学で明らかにされてきた学際的な事実を知る。進化の過程からみたヒトの性の特徴、キンゼイレポートに始まる人々の性に対する様々な調査結果、マスターズ・ジョンソンが実験的に明らかにした「人間の性反応」などを学習する。まとめとしてWHOの定義した「セクシュアリティ」という概念について学ぶ。 2.性別(セックス)の成り立ちの意味を科学的、社会的に学ぶ。またフェミニズムの視点から、ジェンダーについて学ぶ。 3.人間の体の仕組みを「性の視点」から学ぶ。 相互の理解と尊重のために、基本的な性器の構造と生殖(妊娠・分娩)の仕組みを学習する。特に情報の乏しい男性の身体についても学び、セックスや性器に関する誤解を是正し、正確な性情報の選択能力を培う。 4.性感染症の具体的な知識を得ることによって、若年世代での性感染症蔓延の実態を認識する。性的健康を可能にする行動やパートナーとの関係性について考える。AIDSを始めとする性感染症の最新情報を得る。 5.リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて学ぶ。 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて概観し、そのいくつかの健康課題について具体的な学習を通して豊かな男女の関係をいかに築くかを考える。 ・人工妊娠中絶に関する法律とその歴史的背景について ・避妊法(低用量ピル、緊急避妊法、コンドームなど)の進歩と実際について ・健康教育としての性教育の理論とその実際について 6.人間関係としての性を考える。 個人のあり方はその時代の男女の社会関係そのものであり、社会的視点から愛、家族、結婚等について考える。 7.人間の性の多様性を学ぶ。 文化人類学的な視点から性の多様性を知る。また基本的な人権の視点から障害者、高齢者、同性愛者、トランスジェン 		

	ダーなどについて学ぶ。またレイプ、ドメスティック・バイオレンス、性的虐待、性の商品化などの現況を把握し、性行為における同意の質を考える。
キーワード	Sexuality, 多様性, ジェンダー, 同意, リプロダクティブヘルス/ライツ
教科書・教材・参考書	「人間の性とは何か」ミルトン・ダイヤモンド(小学館)、「セクソロジー・ノート」村瀬幸浩(十月舎) 「ジェンダーの西洋史」井上洋子他(法律文化社)、「性現象論」加藤秀一(勁草書房) 「Human Sexuality in a World of Diversity」Rathus, Spencer A. (Allyn & Bacon) 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」北村邦彦(メディカ出版)、「中絶論争とアメリカ社会」荻野美穂(岩波書店)、「ニューキンゼイレポート」(小学館)
成績評価の方法・基準等	各授業担当者毎に小テストを行う(40%)。また最終的なまとめとして課題レポート(40%)を提出する。授業への貢献度(20%)が悪い場合は評価の対象としない。
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

